

## 山口県立徳山高等学校SSH第2期の取組



### 平成27年度～平成31年度：基礎枠（SSH本体）での取組

第2期では、モチベーションの向上・主体的な研究力の伸長・コミュニケーションの拡大を取組の柱に位置付け、科学技術観・科学実践力・国際感覚の育成に取り組むため、大学・企業・本校卒業生等との連携の強化・拡大を図りながら、情報モラルや機械制御を学ぶ「メディアリテラシー」や高校3年間を見通した課題研究を行う「科学技術リテラシーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」などの学校設定科目、マレーシアの自然や風土の学びと現地生徒との交流活動を行う海外研修、大学や企業での体験学習等の特別活動、科学系部活動の活性化を図る課外活動などの多様なカリキュラムを系統的に開発・実践することにより、教養性・専門性・統合性を備えた「イノベーションの担い手となるサイエンスリーダー」の育成に向けた研究開発を行っています。

### 平成29年度～平成31年度：科学技術人材育成重点枠での取組

これまでの**基礎枠**での取組に加えて、本年度から3年間、「**社会との共創**」の区分により、**科学技術人材育成重点枠**での取組を行います。

#### ■ 研究開発のテーマ

山口県周南地域発信！地域資源の活用による環境科学リテラシーの醸成・向上

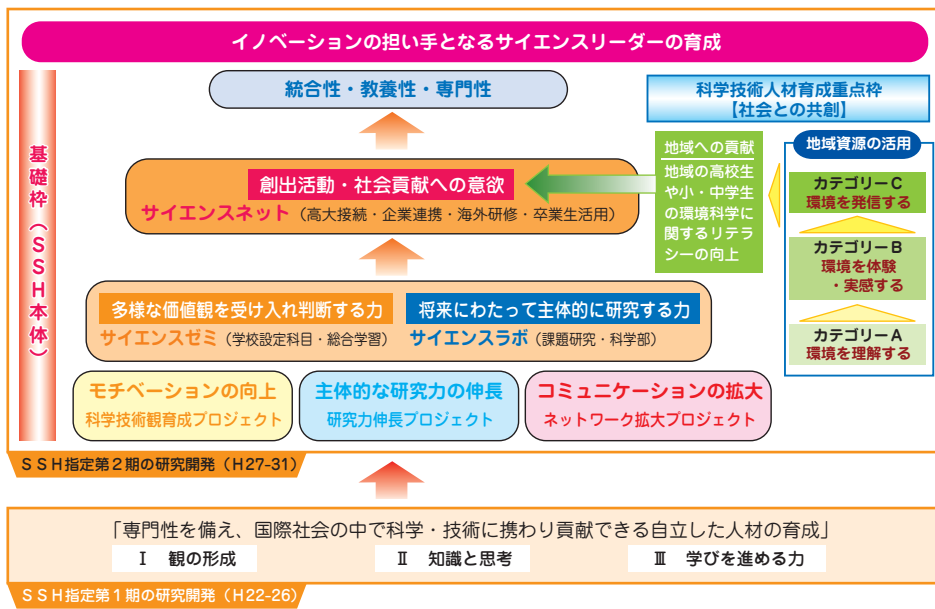
#### ■ 開発研究の概要

地元企業等の事業所、大学等の学術・研究機関、教育機関等と協力・連携により、環境に関する講義・実習等や本校生徒及び連携校生徒等の交流・協働活動を通して、環境に関する知見の理解、体験・実感、発信を行い、環境科学リテラシーの醸成・向上を図るとともに、社会や地域に貢献できる人材の育成をめざします。

<参考> 「社会との共創」とは

SSH科学技術人材育成重点枠において本年度から開始した区分であり、「生徒が自主的・主体的に社会における実際の課題を発見し、設定した課題の解決に向け、地域の企業、研究機関、NPO法人等との連携を活用して行う科学的探究活動について、学校として組織的な支援を行う」ものです。本年度は全国で2校が採択され、うち1校が本校です。

### 【研究開発課題】「イノベーションの担い手となるサイエンスリーダー育成プロジェクト」



研究開発概念図

詳細は徳山高校ホームページをご覧ください。ホームページアドレス <http://www.tokuyama-h.yshn21.jp/kyouiku/>

# スーパーサイエンスハイスクール

Super Science High School

2017



平成27年度～平成31年度 第2期（基礎枠）指定  
平成29年度～平成31年度 科学技術人材育成重点枠指定

山口県立徳山高等学校